

日本植物分類学会第18回大会

日程および大会会場の概要

3月6日(水)	午後	編集委員会(牧野標本館 別館 講義室) 評議委員会(8号館2階 大会議室)
3月7日(木)	8:00~ 9:00~16:40 17:00~19:00	大会参加受付(1号館2階) 口頭発表(1号館2階230教室) ポスター発表(8・9号館1階)
3月8日(金)	8:30~11:40 13:00~14:30 14:30~16:10 16:30~17:30 18:00~20:00	口頭発表(1号館2階230教室) 総会・学会賞授与式(1号館2階230教室) 受賞記念講演(1号館2階230教室) ポスター発表(8・9号館1階) 懇親会(生協食堂)
3月9日(土)	8:30~13:05 14:00~16:40	口頭発表(1号館2階230教室) 公開シンポジウム(1号館2階230教室)



首都大学東京 南大沢キャンパス

【本会場】1号館2階(口頭発表、総会、受賞記念講演、公開シンポジウム)・8-9号館1階(ポスター発表)

【各種委員会会場】牧野標本館 別館 講義室(編集委員会)、8号館2階 大会議室(評議委員会)

発表の要領

●口頭発表

発表時間は、講演12分、質疑応答3分の計15分です。口頭発表の際には液晶プロジェクターを使用しますが、発表用パソコンは各自でご用意下さい。Apple製品等、特殊な接続ケーブルが必要な場合は、各自でご用意下さい。

●ポスター発表

ポスター用ボードは、縦180cm×横90cmのサイズです。貼り付け用の紙などは、大会実行委員会で用意します。ポスターは3月7日13時までに貼り付けし、8日18時までに撤去して下さい。

口頭発表時間割詳細

(*発表者、*発表賞エントリー、▼求職中)

3月7日(木)

【座長 鈴木武】

9:00~9:15 A1* *▼大槻涼(駒澤大・総合教育・自然科学) 顕微鏡を用いた市民参加型ワークショップの試み~日本シダの会での事例~

9:15~9:30 A2* *藤原泰央・Lian Zhenlong・Hongmei Liu・Harald Schneider(中科院・熱帯植物園) Dynamics of genome size evolution in ferns

9:30~9:45 A3* *▼新田ジョエル¹・海老原淳²(¹スミソニアン博・植物;²科博・植物) Eupolypods II シダ類のシーケンスキャプチャー:深い系統関係と近縁種群の系統解析

9:45~10:00 A4* *上嶋智大¹・堤千絵²・小藤累美子³・山田敏弘⁴(¹金沢大・院・自然科学・自然システム;²科博・植物;³金沢大・理工・生命理工;⁴大阪市大・理・植物園) ゼンマイとシロヤマゼンマイの人工交配雑種

10:00~10:15 A5* *酒井絵理佳¹・芹沢俊介²・常木静河³・山本薫⁴・堀清鷹⁵・海老原淳⁶・村上哲明¹(¹首都大・牧野;²愛知みどりの会;³愛教大・生物;⁴横須賀市自然・人文博;⁵高知県立牧野植物園;⁶科博・植物) 奥多摩と小笠原から見出された新産シダ植物種の独立配偶体

10:15~10:30 A6* *山田旭・村上哲明・加藤英寿(首都大・牧野) 小笠原諸島産シダ類配偶体におけるAM菌感染の実態および菌相の解明

10:30~10:40 -----休憩-----

【座長 柿嶋 聡】

10:40~10:55 B1* *真鍋遼¹・福島慶太郎²・石川直子³・阪口翔太⁴・伊藤元己⁵・西野貴子⁶(¹大阪府大・院・理・生物;²京都大・生態研;³東京大・院・総合文化;⁴京都大・院・人環;⁵東京大・院・総合文化;⁶大阪府大・院・理) サワシロギク生態型の蛇紋岩適応における土壌環境と微生物の相互作用

10:55~11:10 B2* *▼番場大¹・青木誠志朗²・梶田忠³・瀬戸口浩彰⁴・綿野泰行⁵・佐藤修正⁶・土松隆志⁵(¹千葉大・院・理;²東京大・院・理;³琉球大・熱生研・西表;⁴京都大・院・人環;⁵千葉大・理;⁶東北大・院・生命) ミヤコグサ野生系統の生育に対する根粒菌遺伝子型の影響

11:10~11:25 B3* *逸見来人¹・山田孝幸²・木村拓真¹・後藤隼¹・菊池誉史¹・牧雅之²(¹東北大・院・生命;²東北大・植物園) 伊豆諸島固有種シマホタルブクロにおける中間的自殖率の実態

11:25~11:40 B4* *中村剛士¹・鈴木武²・狩山俊悟³・松井宏光⁴・安部祐史⁵・地職恵⁶・濱田展也⁷・沢和浩⁸・篠原渉⁹・坪田博美¹⁰・森田竜義¹¹・西野貴子¹(¹大阪府大・院・理;²兵庫県大/兵庫県博;³倉敷市立自然史博;⁴松山東雲短大;⁵松江市;⁶岡山県自然保護セ;⁷広島県立尾道東高;⁸東北植物研究会;⁹香川大・教育;¹⁰広島大・院・理;¹¹新潟大) 西日本を中心とした淡黄色型タンポポ属の無融合性複合体の実態

11:40~11:55 B5* *小林弘佳¹・川口也和子²・Mangal Man Shakya³・土松隆志²・関本弘之¹・土金勇樹⁴(¹日本女子大・院・理・物生;²千葉大・院・理・生物;³Wildlife Watch Group, Nepal;⁴日本女子大・理・物生) ネパール産ミカヅキモ属の多様性と新規交配群Hの発見

11:55~12:10 B6* *西村明洋¹・加藤英寿²・布施静香³・田村実³・高山浩司³(¹京都大・理;²首都大・牧野;³京都大・院・理・植物) 小笠原諸島固有寄生植物シマウツボの宿主同定および遺伝構造解析

12:10~13:30 -----昼食-----

12:30~13:15 塚谷 裕一(学振・学術システム研究センター) ランチョン科研費セミナー

【座長 高山浩司】

13:30~13:45 C1* *川井友裕¹・藤井紀行²・伊藤元己¹(¹東京大・院・総合文化;²熊本大・院・先端科学) 高山性シオガマギク属植物の系統地理学的研究

13:45~14:00 C2* *柿澤幸江¹・木村拓真¹・堀江佐知子²・牧雅之²(¹東北大・院・生命;²東北大・植物園) 高山植物キキョウ科2種の分布変遷の解明と東北地域における遺伝的多様性の地域特異性

14:00~14:15 C3* *尾崎貴久¹・松田浩和²・東城幸治²(¹信州大・院・総合理工;²信州大・理) 高山植物コマクサの分子系統地理学的研究に基づく分布形成過程の推定

14:15~14:30 C4* *Atsushi Sugano¹・Inna Koksheeva²・Tomoko Fukuda³・Myounghai Kwak⁴・Jinshuang Ma⁵・Elena Pimenova²・Pavel Krestov²・Ayumi Matsuo⁶・Yoshihisa Suyama⁶・Koh Nakamura⁷(¹Graduate School of Agriculture・Hokkaido Univ.;²Botanical Garden-Institute・FEB-RAS, Russia;³College of Liberal Arts and Science・Mie Univ.;⁴Plant Resources Division・

National Institute of Biological Resources, Korea ; ⁵Shanghai Chenshan Plant Science Research Center·CAS, China ; ⁶Field Science Center·Graduate School of Agriculture Science·Tohoku Univ. ; ⁷Botanic Garden·FSC·Hokkaido Univ.) Species-complex formation by two rhododendrons from Hokkaido and West Japan with their allied species in the northeast Asia continent and their migrations into Japan via northern and southern routes

14:30~14:45 C5* *浅岡由衣¹・高橋大樹¹・瀬戸口浩彰¹・井鷲裕司²・Yingxiong Qiu³・Pan Li³・Ruisen Lu³・阪口翔太¹ (1京都大・人環；2京都大・農；3College of Life Sciences, Zhejiang Univ.) ギンバイソウ属(アジサイ科)の系統地理解析から明らかになった気候遺存種のダイナミックな分布変遷

14:45~15:00 C6* *▼野村実希¹・Ralf Ohlemüller¹・Barbara J. Anderson² (1オタゴ大・地理；2Manaaki Whenua Landcare Research) Do historical constraints contribute to shaping current species distributions?

15:00~15:10 休憩

【座長 奥山雄大】

15:10~15:25 D1* *▼Gutiérrez-Ortega José Said¹・Salinas-Rodríguez María Magdalena²・伊東拓朗³・Pérez-Farrera Miguel Angel⁴・Vovides Andrew P.⁵・Martínez José F.⁶・Molina-Freaner Francisco⁶・Hernández-López Antonio⁶・川口利奈⁷・永野惇⁷・綿野泰行¹・梶田忠⁸・高橋佑磨¹・村上正志¹ (1千葉大；2UAQ Mexico；3京都大；4UNICACH Mexico；5INECOL Mexico；6UNAM Mexico；7龍谷大；8琉球大) Niche conservatism promotes ecological speciation in the cycad *Dioon merolae* (Zamiaceae) in Mexico

15:25~15:40 D2* *村山-竹下香織¹・渡邊幹男²・満行知花³・松尾歩⁴・岩崎貴也⁵・陶山佳久⁶・藤井紀行⁷ (1熊本大・院・自然科学；2愛教大・生物；3高知大・理・生物；4東北大・院・農；5神奈川大・理・生物；6東北大・農・資源生物；7熊本大・院・先端科学) MIG-seq 解析を用いた襲速紀要素ハガクレツリフネの分子系統地理学的検証と集団動態推定

15:40~15:55 D3* *牛久由夏¹・石川直子¹・中浜直之¹・倉島治¹・陶山佳久²・伊藤元己¹ (1東京大・院・総合文化；2東北大・院・農) ニュージーランドのキク科 *Celmisia* 属における MIG-seq を用いた系統解析

15:55~16:10 D4* *孫田佳奈¹・阪口翔太¹・廣田峻²・綱本良啓³・陶山佳久²・赤井賢成⁴・瀬戸口浩彰¹ (1京都大・院・人環；2東北大・院・農；3森林総研・東北；4(一財)沖縄美ら島財団) ハビタットの違いは遺伝構造に影響するか？滝に生きるエチゼンダイモンジソウと姉妹種の比較

16:10~16:25 D5* *▼設楽拓人¹・相原隆貴² (1筑波大・院・生命；2筑波大・院・山岳科学) 本州中部山岳におけるチョウセンミネバリの新産地と群落特性

16:25~16:40 D6* *▼坪田和真¹・Hyeok-Jae Choi²・陶山佳久³・Polina A. Volkova⁴・松尾歩³・綱本良啓⁵・廣田峻³・志賀隆⁶ (1新潟大・院・自然；2Changwon National Univ.；3東北大・農；4Papanin Institute for Biology of Inland Waters；5森林総研東北支部；6新潟大・教育) ゲノムワイドな SNP 情報を用いた水生植物アギナシ(オモダカ科)の集団遺伝解析

16:40~17:00 移動

17:00~19:00 ポスター発表1

16:40~20:00 牧野標本館・別館標本庫見学会(この間はいつでも標本庫をご覧になれます)

3月8日(金)

【座長 黒沢高秀】

8:30~8:45 E1* *青木滉太(同志社大・文情) 植物標本デジタル画像化における、標本ラベルの自動抽出と認識

8:45~9:00 E2* *首藤光太郎¹・山岸洋貴²・志賀隆¹ (1新潟大・教育；2弘前大・農・白神自然環境研究センター) 青森県つがる市で新たに見つかった水草の楽園~希少水草ガシヤモクの発見からはじまった水生植物相研究~

9:00~9:15 E3* *青木聡志¹・伊藤元己² (1東京大・院・理；2東京大・院・総合文化) カテンソウ属とミヤマイラクサ(イラクサ科)の分類学的再検討

9:15~9:30 E4* *高橋大樹¹・Yu Feng²・阪口翔太¹・Pan Li²・Rui-Sen Lu²・Chang-Tse Lu³・Shih-Wen Chung⁴・Yang-Shan Lin⁵・Yun-Chao Chen⁵・川口利奈⁶・永野惇⁶・Ying-Xiong Qiu²・井鷲裕司⁷・瀬戸口浩彰¹ (1京都大・院・人環；2浙江大・生命科学；3国立嘉義大・生物資源；4台湾森林研；5苗栗農業研；6龍谷大・農；7京都大・院・農) 日華植物区系におけるカンアオイ節の系統多様化

- 9:30~9:45 E5* *李忠建・布施静香・田村実(京都大・院・理・植物) アジア産イボクサ属(ツユクサ科)の系統と花の相称性の進化
- 9:45~10:00 E6* *倉田正観¹・西田佐知子²・伊藤元己¹(¹東京大・院・総合文化;²名古屋大・博物館) ゲノム比較にもとづく日本産フウロソウ属の系統関係解明
- 10:00~10:10 -----休憩-----
- 【座長 樋口正信】
- 10:10~10:25 F1 *長澤耕樹¹・瀬戸口浩彰²・牧雅之³・沢和浩⁴・堀江健二⁵・福島慶太郎⁶・陶山佳久⁷・松尾歩⁷・綱本良啓⁸・阪口翔太²(¹京都大・総人;²京都大・院・人環;³東北大・植物園;⁴天童市;⁵旭川市北邦野草園;⁶京都大・生態研;⁷東北大・院・農;⁸森林総研・東北) 遺伝子浸透は極限植物の種形成に参与したか? : ヤマタヌキランとその近縁種を対象にした多種動態解析
- 10:25~10:40 F2 *野崎久義¹・松崎令²・Benedicto B. Kashindye³・Charles N. Ezekiel³・河地正伸²・相原光人⁴・二階堂雅人⁴(¹東京大・理・生物;²国立環境研;³タンザニア水産研;⁴東京工業大・生命理工) ボルボックスの仲間を求めてアフリカの古代湖へ
- 10:40~10:55 F3 *▼松崎令¹・野崎久義²・河地正伸¹(¹国立環境研;²東京大・理・生物) 新規培養株によって明らかとなった氷雪性クロロモナスの1種(緑藻綱, ボルボックス目)の有性生殖
- 10:55~11:10 F4 *仲田崇志¹・大谷修司²・富田勝¹(¹慶大・先端生命研, 慶大・政策メディア・先端生命;²島根大・教育) 汽水産および海産の新種ミクログレナ属藻類(緑藻綱, オオヒゲマワリ目)
- 11:10~11:25 F5 *嶋村正樹・鄭天雄(広島大・院・理・生物科学) 日本産ゼニゴケ属の分類学的再検討
- 11:25~11:40 F6 *田金秀一郎¹・鈴木英治²(¹鹿児島大・博物館;²鹿児島大・島嶼研) 鹿児島大学総合研究博物館の植物標本庫(KAG)の紹介
- 11:40~13:00 -----昼食-----
- 13:00~14:30 総会・学会賞授与式

学会賞受賞記念講演

- 【司会 永益英敏】
- 14:30~15:00 学会賞 海老原淳(科博・植物) 生物多様性情報に立脚したシダ植物の分類学構築
- 15:00~15:30 学会賞 杉野孝雄(遠州自然研究会) 静岡県に於ける植物分布の多様性
- 15:30~15:50 奨励賞 ▼遠山弘法(琉球大・熱帯生物圏研究センター) 種内、種間、群集における多様性の創出・消失過程
- 15:50~16:10 奨励賞 ▼井上侑哉(服部植物研究所) セン類センボンゴケ科を中心としたコケ植物の系統・分類学的研究
- 16:10~16:30 -----移動-----
- 16:30~17:30 ポスター発表2
- 18:00~20:00 懇親会

3月9日(土)

- 【座長 田村実】
- 8:30~8:45 G1 *國府方吾郎¹・伊東拓朗²・鈴木裕美子¹・村上哲明³・横田昌嗣⁴(¹科博・植物;²京都大・院・農;³首都大・牧野;⁴琉球大・理) ハウチワノキにおける核DNAデータを用いた小笠原・琉球への進入追跡
- 8:45~9:00 G2 *藤井紀行¹・藤本啓嗣²・仁木教陽²・辻畑征弥²・岩崎貴也³・池田啓⁴・副島顕子¹(¹熊本大・院・先端科学;²熊本大・理;³神奈川大・理;⁴岡山大・植物研) 満鮮要素植物複数種の葉緑体DNAを用いた比較系統地理学
- 9:00~9:15 G3 *福田知子¹・チェルニャギナ O.A.²・タラン A.A.³・バルカロフ V. Yu.⁴・池田博⁵(¹三重大・教養;²太平洋地理学研;³サハリン植物園;⁴極東多様性センター;⁵東京大・博物館) 千島列島におけるシベリアイワブキと近縁種の葉緑体ハプロタイプの地理的変異
- 9:15~9:30 G4 *阪口翔太¹・高橋大樹¹・瀬戸口浩彰¹・山下由美²・沢和浩³・田村淳⁴・玉木一郎⁵・渡辺洋一⁶・大石満⁷・松尾歩⁸・陶山佳久⁸・井鷲裕司⁹(¹京都大・院・人環;²科博;³天童市;⁴神奈川自然環境保全センター;⁵岐阜森林アカデミー;⁶千葉大・院・園芸;⁷静岡市;⁸東北大・院・農;⁹京都大・院・農) ヤシヤビシヤクの富士山集団における著しい遺伝的分化
- 9:30~9:45 G5 *▼柿嶋聡¹・都野展子²・保坂健太郎³・伊東拓朗⁴・奥山雄大⁵(¹科博・分子セ;²金沢大;

³科博・植物；⁴京都大・農；⁵科博・植物園) ユキモチソウのキノコ擬態による近縁種との生殖隔離

9:45~10:00 G6 *望月昂(東京大・植物園) キノコバエ媒植物に見られる特異な送粉シンドローム

10:00~10:10 休憩

【座長 佐藤博俊】

10:10~10:25 H1 *▼亀岡慎一郎¹・崎尾均²・阿部晴恵²・瀬戸口浩彰¹(¹京都大・院・人環；²新潟大・農)

ミスミソウにおける花色多型の維持機構：訪花昆虫による拮抗的自然選択

10:25~10:40 H2 *▼伊東拓朗¹・游旨价²・鍾國芳³・横田昌嗣⁴・永野惇⁵・國府方吾郎⁶(¹京都大・院・農；²台湾大・森林資源；³中研院・多様性；⁴琉球大・理・海洋自然；⁵龍谷大・農；⁶科博・植物) RAD-seq

解析により明らかになったハママンネングサ種内における隠蔽系統の存在

10:40~10:55 H3 *芹沢俊介¹・柿嶋聡²・八杉公基³・永野惇⁴・常木静河⁵(¹愛知みどりの会；²科博・分子セ；³宇都宮大・工；⁴龍谷大・農；⁵愛教大・生物) RAD-seq から見た本州中部におけるマツムシソウの分化

10:55~11:10 H4 *奥山雄大¹・野口英樹²・仲里猛留³・手塚あゆみ⁴・永野惇⁴(¹科博・植物園；²ゲノムデータ解析支援センター；³ライフサイエンス統合データベースセンター；⁴龍谷大・農) チャルメルソウ

ゲノム計画とその種分化・適応進化研究への展開

11:10~11:25 H5 *菊地賢¹・鈴木和次郎²(¹森林総合研；²只見町ブナセンター) ユビソヤナギとは何か—核低コピー領域による邦産ヤナギ属の系統解析—

11:25~11:40 H6 *久保田涉誠¹・岩崎貴也²・永野惇³・花田耕介⁴・彦坂幸毅⁵・伊藤元己¹・森長真一⁶

(¹東京大・総合文化；²神奈川大・理；³龍谷大・農；⁴九州工大・若手研究者フロンティア；⁵東北大・生命科学；⁶日大・生物資源) 植物乾燥標本をリシーケンスする際に気をつけたいこと

11:40~11:50 休憩

【座長 海老原淳】

11:50~12:05 I1 *中屋敷徳¹・根本秀一²・沢和浩³・黒沢高秀²・出羽厚二¹(¹岩手医大・法科学；²福島大・共生システム理工；³東北植物研究会) 分子系統学的情報に基づくトリカブト亜属植物の分類の再検討

および分類形質の評価

12:05~12:20 I2 *織田二郎¹・山下純²・勝山輝男³・布施静香⁴・田村実⁴(¹奈良県香芝市；²岡山大・植物研；³神奈川県博；⁴京都大・院・理・植物) ミヤマカンスゲ群の分子系統解析

12:20~12:35 I3 *米倉浩司(東北大・植物園) ササ属のタイプ、クマザサ *Sasa veitchii* (Carrière) Rehder (イネ科タケ亜科) の正体

12:35~12:50 I4 *東義詔¹・志内利明¹・川窪伸光²・中田政司¹(¹富山県中央植物園；²岐阜大・応用生物)

植物園における植物の動的記録・展示法を探る：パナマソウ開花のインターバル撮影

12:50~13:05 I5 *堀井雄治郎(秋田県) 奥羽山脈「真昼山地」に溢れるオサバグサの調査

13:05~14:00 昼食

公開シンポジウム「東京の植物の今を語る」

オーガナイザー 村上哲明・菅原敬・加藤英寿(首都大・牧野)

14:00~14:10 村上哲明(首都大・牧野) 挨拶・趣旨説明

14:10~14:40 内野秀重(八王子市長池公園・NPO フェージョン長池) 多摩丘陵で発見されたタマノホシザクラとハチオウジアザミ

14:40~15:10 石橋正行(伊豆諸島植物研究会・いそぎく) 伊豆諸島—比べて染み入る花の魅力

15:10~15:40 岡武利(日本シダの会) 東京都を代表するシダは何か

15:40~16:10 照井進介(東京都公園協会、神代植物公園植物多様性センター) 東京都内に生息する絶滅危惧植物の保全—神代植物公園植物多様性センターの取組—

16:10~16:40 加藤英寿(首都大・牧野) 小笠原植物調査漂流記&東京都植物誌の編纂に向けて

ポスター発表一覧

(*発表者, *発表賞エントリー, ▼求職中)

P01* *高野智之・野崎久義(東京大・院・理・生物科学) アオミドロ属で発見された特徴的な細胞間隔壁を持つ種

P02 *北山太樹(科博) 小笠原で採取された日本新産海藻 *Lychaete bainesii* (シオグサ科) の形態

P03* *鄭天雄・嶋村正樹(広島大・院・理・生物科学) タイ類ゼニゴケ属の無性芽の比較形態学的研究

- P04 *片桐知之(服部植物研究所) 日本産コケ植物タイ類・ツノゴケ類のチェックリスト, 2018
- P05* *河原希実佳・坪田博美(広島大・院・理・宮島) 日本産ダンゴゴケ属植物(タイ類)の系統的位置と孢子培養
- P06 *樋口正信(科博・植物) 日本産蘚類の新属、オオカギトゴケ属
- P07* *▼小栗恵美子¹・高山浩司²・山口富美夫³・村上哲明¹(¹首都大・牧野;²京都大・院・理・植物;³広島大・院・理・生物科学) 小笠原諸島固有種ムニンシラガゴケの遺伝的多様性
- P08 *海老原淳¹・総谷文清²・大西亘³・片山なつ⁴(¹科博・植物;²しだとこけ談話会;³神奈川県博;⁴千葉大・理・生物) 日本産シダ植物の分類学リソースポータルサイト構築
- P09* *島康平¹・堀清鷹²・芹沢俊介³・村上哲明⁴・高宮正之⁵(¹熊本大・院・自然科学;²牧野植物園;³愛知みどりの会;⁴首都大・牧野;⁵熊本大・院・先端科学) ノコギリシダ属シロヤマシダ類の分類に関する予備的調査～アマミシダがシロヤマシダの母親?～
- P10 *Kiyotaka Hori¹・Aung Zaw Moe²(¹The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden;²Forest Research Institute, Myanmar) The sexual type of the sect. *Quadriauricula* (Pteridaceae) in Myanmar
- P11* *小玉あすか¹・山本薫²・大西亘³・松尾歩⁴・陶山佳久⁴・岩崎貴也¹(¹神奈川大・理;²横須賀博;³神奈川県博;⁴東北大・農) 暖地性シダ植物マツバランの系統地理解析:特に神奈川県産個体の由来に着目して
- P12 *堤千絵¹・片山なつ²・平山裕美子¹・加藤雅啓¹(¹科博・植物;²千葉大・院・理) ゼンマイ科の分子系統
- P13* *岩切彩夏¹・丸山厚吉¹・村上哲明¹・佐藤博俊²(¹首都大・牧野;²京都大・院・人環) キチチタケ(ベニタケ科)のDNA情報を用いた隠蔽種の探索
- P14 *保坂健太郎¹・南京沃¹・Wah Wah Linn²・Mu Mu Aung²・Sabitra Pradhan³・Dawa Penjor³(¹科博・植物;²FRI, Myanmar;³NMC, Bhutan) ブータンとミャンマーで採集されたきのこの分類と分布
- P15* *田村優希¹・斎藤由紀子²・池田博³・矢野興一¹(¹岡山理大・生物地球;²琉球大・教育;³東京大・博物館) 日本産ヤリテンツキ(カヤツリグサ科)における遺伝的多型の地理的構造
- P16 *佐藤博俊(京都大・院・人環) 国際塩基配列データベースを活用した大型菌類の種数と多様化パターンの推定
- P17* *木村拓真¹・柿澤幸江¹・森長真一²・牧雅之³(¹東北大・院・生命;²日大・生物資源;³東北大・植物園) 異なる標高に分布するカワラナデシコ種内分類群の分子系統地理:高嶺の花のルーツを探る
- P18 *大村嘉人¹・Mu Mu AUNG²・田中伸幸¹(¹科博・植物;²ミャンマー・森林研) ミャンマーにおける地衣類インベントリー
- P19* *須貝杏子¹・伊藤朱音²・鈴木節子³・村上哲明⁴・加藤英寿⁴(¹島根大・農生命系;²島根大・生物資源;³森林総研;⁴首都大・牧野) 母島列島の乾性林に分布するシマホルトノキの遺伝的タイプ
- P20 *Saya TAMURA¹・Myoung-Hai KWAK²・Goro KOKUBUGATA³・Chan-ho PARK, Byoung-Yoon LEE²・Tomoko FUKUDA⁴・Ekaterina PETRUNENKO⁵・Inna KOKSHEEVA⁵・Elena PIMENOVA⁵・Pavel KRESTOV⁵・Svetlana BONDARCHUK⁶・Jin-Shuang MA⁷・Hai-Cheng ZHOU⁸・Hayato TSUBOI⁹・Yoko NISHIKAWA¹⁰・Takashi SHIMAMURA¹⁰・Hiroko FUJITA¹¹・Koh NAKAMURA¹¹(¹Japan Wildlife Research Center;²National Institute of Biological Resources, Korea;³National Museum of Nature and Science;⁴Mie University;⁵Botanical Garden-Institute・FEBRAS, Russia;⁶Sikhote-Alin State Nature Biosphere Reserve, Russia;⁷Shanghai Chenshan Plant Science Research Center, China;⁸Conservation Center of Management Bureau of Changbai Mountain, China;⁹Hakuba-Goryu Alpine Botanical Garden;¹⁰Hokkaido Research Organization;¹¹Botanic Garden, Hokkaido University) Two-way migration of *Lychnis wilfordii* caused by the circular landform of Japan-Korea-northeast China-Russian Far East region and its suggestion for conservation in northeast Asia
- P21* *山本隆聖¹・藤井紀行²・陶山佳久³・松尾歩⁴・いがりまさし⁵・高石あすか⁶・副島顕子²(¹熊本大・理・生物;²熊本大・院・先端科学;³東北大・農;⁴東北大・院・農;⁵植物写真家;⁶神奈川県横浜市) シロスミレとその変種ホソバシロスミレの遺伝構造解析と分布変遷過程の考察
- P22 *赤尾奈緒子¹・南山泰宏²(¹京教大・院・環セ;²京教大・環セ) 近畿地方の湧水湿地と北海道の泥炭湿原に自生するトキソウの遺伝的多様性
- P23* *稗田真也¹・渡部俊太郎²・原田英美子³・野間直彦³(¹滋賀県大・院・環境;²京都大・フィールド研;³滋賀県大 環境) 特定外来生物オオバナミズキンバイ(広義)の西日本におけるクローン構造

- P24 *早川宗志¹・藤井伸二²・吉武啓³ (¹ふじのくに地球環境史ミュージアム; ²人間環境大; ³農研機構・九沖農研) さく葉標本を用いたネナシカズラ属とマダラケシツブゾウムシの寄主-寄生関係の再検討
- P25* *長谷川慎平¹・川井友裕²・瀬尾直登³・池田啓⁴・佐藤修正⁵・矢崎一史³・高梨功次郎⁶ (¹信州大・院・総合理工; ²東京大・院・総合文化; ³京都大・生存研; ⁴岡山大・植物研; ⁵東北大・院・生命; ⁶信州大・山岳研 / 信州大・理) 日本におけるイワオウギ-根粒菌共生系の系統地理学的解析
- P26 *岡崎純子¹・長谷川匡弘²・藤永敏輝³・大森隆司³・南口功丞³ (¹大阪教育大・教員養成; ²大阪自然史博; ³大阪教育大・理科教育) 広域分布種キキョウ科ツリガネニンジンの進化要因の解明: 離島における訪花昆虫相の分化がもたらす繁殖特性の変化
- P27* *菊池誉史¹・藤井伸二²・牧雅之³ (¹東北大・院・生命科学; ²人間環境大・人間環境; ³東北大・植物園) クズとその単食性昆虫オジロアシナガゾウムシの比較系統地理学的解析
- P28 *大槻達郎 (琵琶湖博物館) 海浜植物の種子に寄生するマメゾウムシの寄生率の変動
- P29* *矢野梓水¹・百原新¹・正木智美²・加藤ゆき恵³・富士田裕子⁴ (¹千葉大・園; ²岡山理科大・生物地球; ³釧路市立博; ⁴北大・FSC・植物園) 日本産スゲ属アゼスゲ節 25 種の瘦果外部および解剖学的形態と瘦果化石分類への応用
- P30 *▼今井亮介¹・木下豪太²・栗田和紀²・小牧義輝³・邑田仁³・井鷲裕司²・津田吉晃¹ (¹筑波大・生命; ²京都大・農; ³東京大・植物園) 絶滅危惧植物のデモグラフィについて
- P31* *永濱藍¹・田金秀一郎²・Zhang Meng¹・土屋考人¹・陶山佳久³・松尾歩³・廣田峻³・森塚絵津子¹・Nguyen Van Ngoc⁴・Hoang Thi Binh⁴・永益英敏⁵・内貴章世⁶・遠山弘法⁶・矢原徹一¹ (¹九州大・生態研; ²鹿児島大・博物館; ³東北大・農学; ⁴ダラット大学; ⁵京都大・博物館; ⁶琉球大・熱生研) ベトナムのランピアン山における樹木の種構成と開花・結実フェノロジー
- P32 *小崎和樹¹・鳥居万恭²・増戸秀毅²・近藤和夫²・藤井肇²・稗田真也¹・野間直彦¹ (¹滋賀県大; ²京都市大原野森林公園) 京都市大原野森林公園のキタヤマブシにおけるムカゴによる繁殖と個体サイズ
- P33 *▼谷垣顕佑¹・西田隆義² (¹滋賀県大・院・環境; ²滋賀県大・環境) 滋賀県における在来種タンポポの頭花形態のクラインと繁殖干渉の関係
- P34 山本朱音¹・内貴章世²・高倉耕一³・金岡雅浩⁴・*西田佐知子⁵ (¹岡山大・教育; ²琉球大・熱生研; ³滋賀県大・環境科学; ⁴名古屋大・理; ⁵名古屋大・博) 岡山のカンサイタンポポにおける繁殖干渉メカニズムの検証
- P35* *山崎皆実¹・中川さやか²・副島顕子³ (¹熊本大・院・自然科学; ²京都大・院・農・森林生物; ³熊本大・院・先端科学) 遺伝解析・形態解析によるヤマジノギク群の分類学的検討
- P36 *中川さやか¹・土畑重人¹・井鷲裕司¹・伊藤元己² (¹京都大・院・農; ²東京大・院・総合文化) 二年生草本カワラノギク・ヤマジノギク種群の開花株ロゼット (続報)
- P37* *白石大晴¹・木村拓真¹・藤井伸二²・牧雅之³ (¹東北大・院・生命; ²人間環境大・人間環境; ³東北大・植物園) ダイモンジソウの EST マーカーの開発とその有用性の検証
- P38 *大塚孝一¹・星山耕一¹・石田祐子¹・尾関雅章² (¹長野県植物研究会; ²長野県環境保全研) 長野県の外来植物研究と最近の話題
- P39* *渡邊誠太¹・林一彦²・荒川克郎³・布施静香¹・田村実¹ (¹京都大・院・理・植物; ²大阪学院大・経済; ³ガーデンリリーファーム) 花の大きい *Lilium wallichianum* var. *neilgherrense* の柱頭は、なぜ花の小さい *L. nanum* グループの柱頭に似ているのか?
- P40 *瀧崎吉伸¹・花井隆晃²・鳥居典光³・芹沢俊介⁴ (¹豊橋市立高豊中学校, JNPS; ²テクノ中部, JNPS; ³碧南市経済環境部; ⁴愛知みどりの会, JNPS) 遂に日本に侵入した特定外来生物 *Spartina anglica* C. E. Hubb. (コヒガタアシ: 新称)
- P41* *Wita Yulianti¹・Saeko Katoh¹・Hidethosi Kato¹・Noriaki Murakami¹ (¹Makino Herbarium・Tokyo Metropolitan Univ.) Genetic diversity of an invasive plant species *Morus australis* Poir. in the Ogasawara Islands
- P42 *藤井俊夫¹・織田二郎²・藤井伸二³・牧雅之⁴・レッドデータブック近畿研究会 (¹兵庫県博; ²近畿植物同好会; ³人間環境大; ⁴東北大・植物園) 近畿初記録の湿地生絶滅危惧植物コツブヌマハリイ
- P43* *神谷健輔¹・川久保帆奈美¹・足立耀¹・菅原敬²・芹沢俊介³・渡邊幹男¹・常木静河¹ (¹愛教大・生物; ²首都大・牧野; ³愛知みどりの会) ツクサの個体内にみられる花の二型性の意味
- P44 *田中徳久・勝山輝男・大西亘 (神奈川県博) 『神奈川県植物誌 2018』で新産とされた植物
- P45* *▼山本武能¹・鈴木浩司² (¹対馬市・自然共生課; ²富山県大・工・教養) 対馬に生育する大陸系希少野生植物の島内分布記録とその現状
- P46 大沼みお¹・藤富信之¹・*坪田博美² (¹広島商船高専; ²広島大・院・理・宮島) 広島県で生育が確

認されたムジナモ (モウセンゴケ科)

- P47[☆] *鮎澤勘太・新村真孝・横山俊哉・岩崎貴也 (神奈川大・理) 大学建設とその後の30年の維持管理が植物相に与えた影響: 神奈川大学湘南ひらつかキャンパスのケースを例に
- P48 *鈴木武¹・中村剛士²・西野貴子² (1兵庫県博; 2大阪府大・理院) キビシロタンポポの倍数性と分布
- P49[☆] *亀山智史¹・井上雅仁²・狩山俊吾³・林蘇娟¹ (1島根大・生物資源; 2島根県立三瓶自然館サヒメル; 3倉敷市立自然史博) 島根県隠岐諸島における植物フローラについて
- P50 永岑吉祥・小崎和樹・稗田真也・*野間直彦 (滋賀県大) 琵琶湖に侵入したオオバナミズキンバイ種子の水鳥による散布の発見
- P51[☆] *▼鐵慎太郎・星野義延 (東京農工大・院) 関東南部の海崖における地域固有植物、草原生植物の生育地の植生
- P52 *勝木俊雄¹・松下範久² (1森林総合研; 2東京大・農) 東京大学 (森林植物, TOFO) で確認された E. H. Wilson 採集の *Prunus* 属のタイプ標本
- P53[☆] *浅川彬¹・木村拓真²・米倉浩司³・藤井伸二⁴・牧雅之³ (1東北大・理・生物; 2東北大・院・生命科学; 3東北大・植物園; 4人間環境大・人間環境) 日本固有属エキサイゼリ属 (セリ科) の系統位置関係の解明
- P54 *上野勝典¹・上野由貴枝¹・阪口翔太²・瀬戸口浩彰² (1松本市; 2京都大・院・人環) 長野県開田高原に産するネコノメソウ属イワボタン列の植物
- P55[☆] *武田精一郎^{1,2}・門田裕一³・牧雅之⁴ (1東京大・院・農; 2東京大・総合博物館; 3国立科学博物館・植物; 4東北大・植物園) 核DNAを用いたコウモリソウ属 (*Parasenecio*; *Asteraceae*) の系統解析
- P56 *東馬加奈¹・白井亮久¹・福田泰二² (1武蔵高中; 2武蔵学園) 『Florula Musashinoensis』の証拠標本について
- P57 *緑川昭太郎¹・志賀隆² (1新潟大・院・自然科学; 2新潟大・教育) 水生植物トリゲモは意外と多い?: トリゲモとオオトリゲモのさく葉標本における識別法
- P58 *根本秀一¹・兼子伸吾¹・五百川裕²・黒沢高秀¹ (1福島大・理工; 2上越教育大・学校教育) 本州から記録されたエゾノカワヂシャとマルバカワヂシャの再検討
- P59 *支倉千賀子¹・勝山輝男²・田中徳久²・大西亘²・池田博³ (1東京農大・農・植物園; 2神奈川県博; 3東京大・博物館) 神奈川県を基準産地とするセデンシノ (イネ科アズマザサ属) について
- P60 *田中伸幸¹・ムームーアウン² (1科博・植物; 2FRI) ミャンマー産ショウガ科ショウガ属の新知見
- P61 *沢村祐輝¹・須山知香²・植田邦彦³・高橋弘⁴・吉田國二⁵ (1岐阜大・院・教育学; 2岐阜大・教育・理科教育(生物); 3岐阜大・客員教授; 4岐阜大・名誉教授; 5岐阜県植物研究会) ミヤマカタバミ, コミヤマカタバミとその中間型の分類学的再検討
- P62 *梶田結衣¹・山本崇^{1,2}・栄村奈緒子³・井村信弥¹・石垣圭一¹・堤ひとみ¹・Alison KS WEE⁴・高山浩司⁵・梶田忠¹ (1琉球大・熱生研・西表; 2鹿児島大・連合農; 3鹿児島大・農; 4広西大林学院; 5京都大・院・理・植物) 汎熱帯海流散布植物ナガミハマナタマメの種内と近縁種間の生殖的隔離
- P63 *高野温子¹・阪口翔太²・松尾歩³・陶山佳久³・Pan Li⁴・Guohua Xia⁵・Xi Liu⁶・井鷲祐司⁷ (1兵庫県博; 2京都大・院・人間環境; 3東北大・川渡フィールドセンター; 4Zhejiang Univ.; 5Zhejiang A & F Univ.; 6Wuyanling Nature Reserve of Zhejiang; 7京都大・院・農) オチフジは本当に日本固有種か?
- P64 *内貴章世¹・邑田仁²・加藤詩邦³・東馬哲雄² (1琉球大・熱生研; 2東京大・理・植物園; 3台湾大・生態與演化生物研) シマザクラ属 (アカネ科) の系統分類 (2): 草本種ソナレムグラ群の識別
- P65 *東馬哲雄¹・岩元明敏² (1東京大・理・植物園; 2東京学芸大・自然・生命科学) 屋久島固有の絶滅危惧種シマコウヤボウキについて
- P66 *藤川和美¹・馬場由実子²・リンシエンマン・ティンミヤソー・アウンゾウモン³ (1高知県立牧野植物園; 2オークランド博; 3ミャンマー森林局) ミャンマー・ナマタン国立公園植物目録の編纂
- P67 *大西亘・田中徳久・勝山輝男 (神奈川県博) 地域フロラ作成を目的としたインターネットデータベースの有用性と課題
- P68 SAKATA Rina¹・JORQUERA Maria Josefina²・*▼VASQUES Diego Tavares³ (1東京大・教養・PEAK; 2PUC Chile; 3東京大・総合文化) Active Learning of Evolution, Systematics and Taxonomy of Plants: telling the history of *Ginkgo biloba* L. through a board game